

テクノストラクチャーの『住宅性能表示制度』対応への3大ポイント

構造安定性能(等級3~1)

劣化軽減性能(等級3~1)

温熱環境性能(省エネルギー等級3)

過酷な試験で実証された高耐震性



震災から学んだ新発想の住宅工法

実物大住宅による震動実験で、阪神大震災と同じ震度7の5回の揺れにも耐える躯体強度を実証しました。



集成材柱

柱にはムク材の1.5倍の強度を持つ集成材柱を採用。

集成材の柱は反り・ヒビ割れに強く、工場生産による均一な高品質が保たれます。

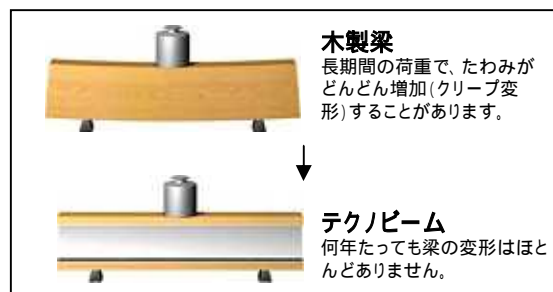


住まいの中で最も荷重のかかる梁部分に、木の優しさと鉄の強靭さを併せ持つ構材『テクノビーム』を採用した松下電工オリジナル住宅工法『テクノストラクチャー』。この新しい発想が、住まいの強度と信頼性を確保します。

木と鉄の複合梁『テクノビーム』

長期荷重に耐えられる高耐久性

木の梁に比べ、曲げ強度は3倍、たわみ量は1/4以下という優れた構造強度を保ちます。



木製梁

長期間の荷重で、たわみがどんどん増加(クリープ変形)することがあります。

テクノビーム

何年たっても梁の変形はほとんどありません。

テクノビームとは？

軽量H型を芯材に上下を木ではさんだテクノストラクチャー工法オリジナルの複合梁です。抜群の強度を誇ります。

テクノビームの特長

木の梁に比べ、曲げ強度は3倍、たわみ量は1/4以下という優れた構造強度を保ちます。

製品の色は印刷のため、実物とは多少色が異なります。

1邸ごとに構造計算する自動躯体システム

自然災害に耐える設計の要

住宅の構造計算を1邸ずつ実施。信頼の構造強度を裏付ける独自の『自動躯体設計システム』です。



専門スタッフが一邸一邸責任を持って構造計算を施しています。最新の建築構造知識をもったプロ集団による責任設計です。

